

徳島商業高等学校 「学力・学習状況」改善プラン

(1) 学力について

重点目標：授業を改善し、生徒に直結する教育活動を充実させることにより、基礎・基本を身につけさせ、学力の質的向上を図ることをねらいとする。						
学年	教科(科目)	具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
1	国語 (国語総合)	わかる授業・生徒の満足度が高い授業をすることで、生徒の国語への関心や、学習意欲を高める。文章読解に不可欠な語彙力・漢字力の向上を図る。読書力を伸ばし、読書の習慣を養う。	・課題提出率100% ・漢字検定合格者を前年度より10%増やす。 ・図書館生徒1人あたり貸出冊数3冊以上	・授業内容や進度に即した資料やワークシートを工夫する。 ・小テストをこまめに実施し、自学・自習の習慣を身につけさせ、さらには家庭学習習慣の確率を図る。 ・図書オリエンテーションや図書館便りを充実させ、啓発を図る。	4・3・2・1	
	公民 (現代社会)	公民科の各科目から「テーマ」を設定し、調べ学習を行い、学習意欲や理解の向上を図る。	公民科の各科目に関するテーマを1つ選択し、レポートにまとめる。	年間指導計画の中で計画的に配置し、課題設定、情報収集、分析などの学習を通して、理解の向上を図る。	4・3・2・1	
	数学 (数学Ⅰ)	数学に興味を持たせるため、公式を覚えさせ問題が解ける喜びをあじあわせる。	中間考査、期末考査で平均70点以上	朝のホームルームの時間に5分ぐらいの小テストをする。	4・3・2・1	
	理科 (理科総合B)	わかる授業、生徒の満足度が高い授業をめざし、基礎的な知識の修得と自然に対する総合的な見方や考え方を養う。	・中間テスト、期末テストで平均点70点以上を目指す。 ・視聴覚教材の活用を10回に増やす。	・視聴覚教材の活用を計画的に行う ・基礎学力定着のための小テストを適宜行う	4・3・2・1	
	保健体育 (保健)	生徒が理解しやすく満足度の高い授業をめざし、保健に関する基礎的知識の習得とその実践力を養う。	・視聴覚教材の活用を10%程度増やす。 ・生徒の満足度を10%程度を増やす。 ・生徒の健康度(精神、身体、社会的)を10%アップさせる。	・健康に関する情報をあらゆる分野から提供し、生徒の興味、関心を高める努力をする。 ・視聴覚教材を効果的に活用する。 ・身近な生活の中に健康の保持・増進の要因が潜んでいる事を毎時の授業の中で理解させ、健康とは生活習慣に大きく左右される事を意識させる。	4・3・2・1	
	芸術 (音楽Ⅰ)	視奏力を伸ばすと共に、曲の構成や曲想の把握と奏法や表現の工夫を図る。	年間3回以上、アンサンブルのグループ発表をさせる。	曲想について理解させ、それをどのように表現するか、また各パートの役割の確認など、生徒同士でも工夫させて発表会を行い相互に評価させる。	4・3・2・1	
	芸術 (美術Ⅰ)	制作に対する意欲の向上と思考力の深化をはかるため、制作途中における相互鑑賞の回数を増やす。	制作途中の相互鑑賞の回数を一作品につき3回以上実施する。	下描きまたは構想の段階、彩色初期段階、完成間近の段階と制作段階別に相互鑑賞を行う。	4・3・2・1	
	芸術 (書道Ⅰ)	作品制作の基礎能力を養う為、臨書や創作作品の発表を通して表現力や鑑賞力をつけさせる。	臨書、創作のいずれかの作品を2回以上実施する。	制作した作品を基に作品意図を中心に発表する。また、他の生徒の発表と比較することにより表現力や鑑賞力を豊かにする。	4・3・2・1	
	英語 (英語Ⅰ)	基本的な文法事項の定着を図り英語を理解し表現する能力を高める。全商英検の合格率を上げる。	全商英検3級合格率80%以上 全商英検2級合格20名以上 週末課題提出率70%以上	英検取得に向けた事前指導を強化する。 週末課題提出の徹底を図る。 音読指導により英文に慣れさせる。	4・3・2・1	
	商業	わかる授業、生徒の満足度が高い授業をめざし、学習成果として、一人、各種検定の1種目以上取得をはかる。	各検定の合格率を受験者数の80%とする。	各種検定取得に向けた指導を強化する。 早朝補習の定期的かつ計画的実施 放課後補習の定期的かつ計画的実施 検定前補習による検定対策学習	4・3・2・1	

国語 (国語表現Ⅰ)	わかる授業・生徒の満足度が高い授業をする。生徒の表現力を高める授業を創造する。「スピーチをおこない、スピーチの意識を確認させ、スピーチを通して実現する交流の楽しみを理解する」	表現力を評価するチェックリストを用い、生徒個々の評価を年間で5ポイント以上あげる	・2学年で身につけるべき表現力(スピーチ)についてのチェックリストを作成し、進捗状況の確認を行う ・各種コンクールに応募し、創作意識を高め、表現力の向上につなげる	4・3・2・1	
	地歴 (世界史A)	地理・歴史科の科目からテーマを設定し、調べ学習を通して教科における学習意欲や学習内容に対する理解の向上を図る。	テーマを年間に2つ以上選択し、それについて調べ、レポートにまとめる。	レポート(テーマ選択理由、要約、学習を通しての意見、感想など)を授業中に作成、提出させる。	4・3・2・1
数学 (数学Ⅰ)	定期試験や実力考査で到達レベルを確認し、学力の定着を図る。	中間考査、期末考査で平均65点以上	確率や、論理等の学習における生徒のつまずき箇所を見つけ、指導方法や教材を工夫し「一人一人に対応したきめ細かい指導」を実施することにより全体のレベルアップを図る。	4・3・2・1	
理科 (生物Ⅰ)	わかる授業、生徒の満足度が高い授業をめざし、生物や生命現象に関する知識の修得と実験・観察を通して理解を深め、実践力を養う。	・定期考査で平均65点以上を目指す。 ・視聴覚教材の活用を5回程度に増やす。	・校内実力テストを実施する。 ・視聴覚教材を効果的に活用する。	4・3・2・1	
2 保健体育 (保健)	生徒が理解しやすく満足度が高い授業をめざし、保健に関する基礎的知識の習得とその実践力を養う。	・視聴覚教材の活用を10%程度増やす。 ・生徒の満足度を10%程度を増やす。 ・生徒の健康度(精神、身体、社会的)を10%アップさせる。	・健康に関する情報をあらゆる分野から提供し、生徒の興味、関心を高める努力をする。 ・視聴覚教材を効果的に活用する。 ・身近な生活の中に健康の保持・増進の要因が潜んでいる事を毎時の授業の中で理解させ、健康とは生活習慣に大きく左右される事を意識させる。	4・3・2・1	
	英語 (英語Ⅱ)	文法事項の定着を図り英語を理解し表現する能力を高めるとともに、英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。全商英検の上級の受験者を増やす。	全商英検上級の受験者30名以上 週末課題提出率70%以上 暗唱または音読テストの実施3回	検定取得に向けた補習を行い、事前指導を強化する。週末課題提出の徹底を図る。音読暗唱指導により英文に慣れさせる。LL機器を活用する。	4・3・2・1
家庭 (家庭総合)	新聞を利用した調べ学習を通して、社会の出来事に関心を持たせるとともに、発表会を行い、情報発信能力を養う。また、学習を通しての気づきを、生活で活用しようとする意欲を養う。	ホームプロジェクト提出率100%	家庭生活と関連する新聞記事を探し、内容の要約と自分の生活との関わりについて、意見をまとめる。さらに二学期最初には、クラスで発表会を行う。	4・3・2・1	
商業	わかる授業、生徒の満足度が高い授業をめざし、学習成果として、一人、各種検定の1種目以上取得をはかる。	昨年度よりグレードの高い検定を受検させ、上位級の検定の取得を図る。	各種検定取得に向けた指導を強化する。 早朝補習の定期的かつ計画的実施 放課後補習の定期的かつ計画的実施 検定前補習による検定対策学習の実施 学習課題を与え家庭学習習慣を確立させる	4・3・2・1	

3	国語 (現代文)	わかる授業・生徒の満足度が高い授業をする。生徒の表現力を高める授業を創造する。「名作を音読することで、声に出して読む楽しさを味わい、また人前で音読する技術を磨く。」	表現力を評価するチェックリストを用い、生徒個々の評価を年間で5ポイント以上あげる	・3学年で身につけるべき表現力(音読)についてのチェックリストを作成し、進捗状況の確認を行う ・各種コンクールに応募し、創作意識を高め、表現力の向上につなげる。	4・3・2・1
	地歴 (日本史A, 地理A)	地理・歴史科の科目からテーマを設定し、調べ学習を通して教科における学習意欲や学習内容に対する理解の向上を図る。	テーマを年間に2つ以上選択し、それについて調べ、レポートにまとめる。	レポート(テーマ選択理由、要約、学習を通しての意見、感想など)を授業中に作成、提出させる。	4・3・2・1
	数学 (数学A)	就職試験や大学入試等の頻出問題などで定期的小テストを行い、基礎学力の定着を図る。	実際の終章試験や大学入試で6割以上得点できることを、同様に小テストも6割以上を目指す。	生徒の実態に合わせた課題を作成し、理解度に応じて、個別指導などを行い、全体のレベルアップを図る。	4・3・2・1
	理科 (理科総合A)	わかる授業、生徒の満足度が高い授業をめざし、基礎的な知識の修得と自然に対する総合的な見方や考え方を養う。	・中間テスト、期末テストで平均点65点以上を目指す。	・課題を通して、学習習慣の確立をめざす。 ・視聴覚教材の活用を計画的に行う。	4・3・2・1
	家庭 (家庭総合)	学力と朝食摂取には相関関係がある。そこで食生活領域の授業では、朝食摂取の重要性を認識させるとともに、学んだ知識と技術を活用して、自ら朝食を準備できる知識や技術・意欲を育成する。	ホームプロジェクト提出率 100%	夏季休業中の課題として、朝食づくりを行う。作った朝食の作り方、ポイント、できあがった写真等をまとめ、二学期最初の授業で、発表会を行う。	4・3・2・1
	芸術 (音楽Ⅱ)	我が国の伝統音楽や世界の諸民族の音楽について学習し、音楽的視野の拡大を図る。	日本の伝統音楽や郷土の音楽、世界の諸民族の音楽について年間2回以上取り上げて学習させる。	さまざまな鑑賞を通して、音楽の種類や特徴について理解させると共に、歴史的・社会的背景についても学習させる。	4・3・2・1
	芸術 (美術Ⅱ)	制作に対する思考力の深化と鑑賞の能力を高めるねらいで、制作過程での相互鑑賞・相互評価を行う。	制作途中の相互鑑賞の回数を一作品につき3回以上実施する。	制作過程の要所(節目)で自他の作品を比較し、これまでの作業を点検し次作業の充実を図る。	4・3・2・1
	芸術 (書道Ⅱ)	表現力や制作に対する意欲を高め、完成作品を発表することによりコミュニケーション能力をつけさせる。	作品の発表を2回以上実施する。	制作した作品を基に作品意図を中心に発表する。また、他の生徒の発表と比較することにより表現力や鑑賞力を豊かにする。	4・3・2・1
	英語 (英語Ⅱ)	英語を通して社会的・文化的な事柄に関心をもち、自分の意見をまとめることができる。全商英検の上級の受験者を増やす。	英語で読んだ文章についての英語または日本語によるエッセイの提出3回全商英検上級の受験者20名以上	英語で読んだ文章について考えたり表現する機会を作る。個別指導による上級の検定対策を強化する。	4・3・2・1
	商業	3種目以上1級合計者数を増やす。3年間で1種目以上1級を取得する。	60人以上を目標とする。	各種検定取得に向けた指導を強化する。 早朝補習の定期的かつ計画的実施 放課後補習の定期的かつ計画的実施 検定前補習による検定対策学習の実施 学習課題を与え家庭学習習慣を確立させる	4・3・2・1

(2) 学習状況について

重点目標 : 卒業後の進路実現への目標設定を行い, 学習習慣を定着することで学習意欲を向上させる。						
学年	学科	具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
全	総合情報 ビジネス類	授業中の学習内容を充実 さ, 学力向上を図る。	授業評価による生徒の授 業満足度75%以上	週末課題などを取り入れ, 家庭 学習を定着させる。	4・3・2・1	
		進路と資格取得との関連を 理解させることで, 学習意 欲の向上をさせる。	全商検定3種目以上1級 合格者数60名以上	長期休業中および検定前の補 習, 朝のSHR前の時間を効率 的に利用する。	4・3・2・1	

(3) 進路について

学科	進路目標(数値目標)	評価	改善点
総合情報 ビジネス類	進路希望未決定者を0とする。	4・3・2・1	